

# 学校だより

大阪市立玉川小学校

3月号

令和8年3月1日

## 令和7年度の最終月の3月を迎えました。

あっという間に年度末の3月を迎えました。大きなランドセルを背に、あどけない様子で登校していた1年生も、背丈が伸び、とてもしっかりとした様子で活動する姿が見受けられます。ランドセルが少し小さく感じられるくらいに成長している様子は何よりもうれしい限りです。

6年生は、明日の2日(月)から数えてあと13日で卒業式となります。6年間の学校生活の中では、数えきれないくらいの学習活動がありましたが、小学校での活動もあとわずかです。卒業への喜びや達成感とともに、中学校への期待や不安感が交錯する中、一日一日を大切にして、残りの日々を悔いなく過ごしてほしい思いでいっぱいです。

2年生～5年生も、様々な学習活動を通して、心も体もこの一年間ですごく成長してきました。特に集団活動における他者への関わりは、人を思いやる温かな言葉がけや行動が随所でみられ、活動での笑顔がより多く見られます。

全学年の児童ともに大きな成長の足跡を残しつつ、4月からのそれぞれのステージに向け更なる一步に繋がるよう、励ましてまいります。

## 世界に広がる「会釈する」という日本古来の文化

これまで児童朝会等の機会をとらえ、挨拶励行について話してきました。その折に会釈することの大事さについて、「人と人の心を繋ぐ行い」としてとても大事にしていきたいですねと語り続けてきました。最近、校内や校下で子どもたちとすれ違う時、さりげなく会釈を交わす子どもが本当に多くなりました。もちろん子ども同士で会釈を交わしている様子も見受けられますが、教職員間でも会釈の機会が増えてきたように思います。ほんの一瞬でも心の繋がりが感じられると、それだけで何か温かさが感じられ、どこことなく明るい気持ちになります。

「会釈」は日本古来から続く文化の一つです。飛鳥時代から奈良時代にかけて中国の礼法を取り入れたことが始まりとされています。これは仏教とともに日本に伝わりました。これが時代の流れの中で、日本の文化として、深く結び

ついてきたのだと思います。

近年では、外国からの旅行者が日本の文化に触れ、自国に帰国してからこの「会釈」を行い、これまで会釈をしなかった国々でも「会釈」する文化が広がっているそうです。会釈による心の交流がさらに広がるといいですね。

## **令和8年度の大きな学校行事についてお知らせいたします。**

現時点で予定している大きな行事は下記のとおりです。

- ・4月学習参観・懇談会 4月24日（金）
- ・運動会 5月23日（土）
- ・5年生 自然体験学習 10月21日（水）～ 22日（木）
- ・6年生 修学旅行 11月10日（火）～ 11日（水）
- ・遠足 5・6年生 一学期 1～4年生 二学期

※来年度より全校遠足は行わず、各学年単位の遠足を実施いたします。

## **地域の皆様、本年度も子どもたちがたいへんお世話になりました。**

毎日の登下校での見守り活動を実施していただいている「玉川子ども見守り会」の皆さまをはじめ、地域の皆様方、本年度も子どもたちがたいへんお世話になり、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、今年も子どもたちが元気に過ごすことができました。来年度もいろいろな場でお世話になることと思います。引き続きよろしく願いいたします。